



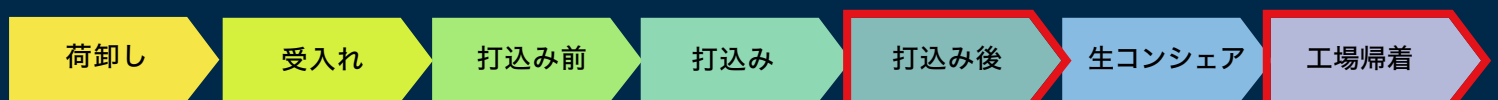
RRCS

Ready-mixed & Returned Concrete
Solution Association

ONSITE WG Technical Information Sheet

セルドロンを用いた生コン処理工法

No.91





No. 91 セルドロンを用いた生コン処理工法

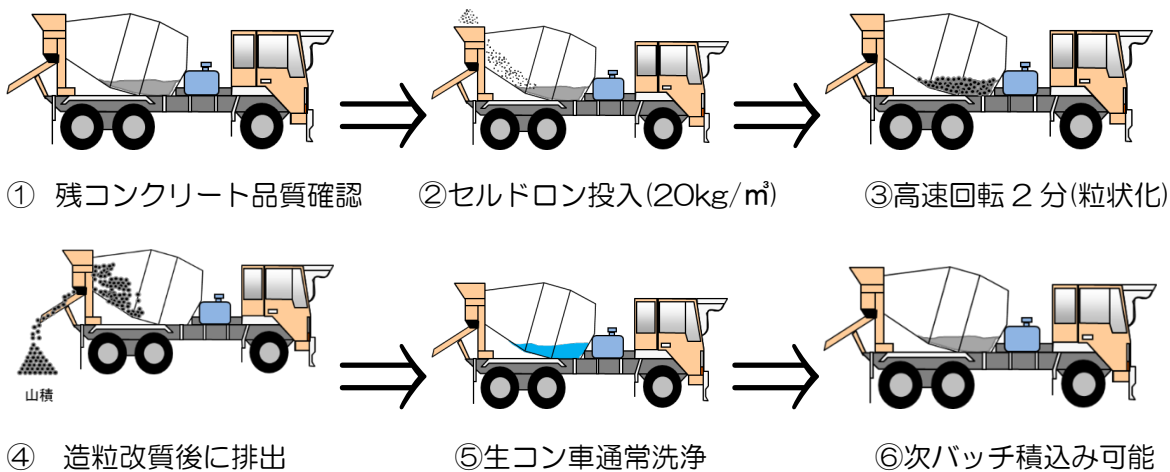
(NETIS 登録番号 KT-200036-A)

【概要】

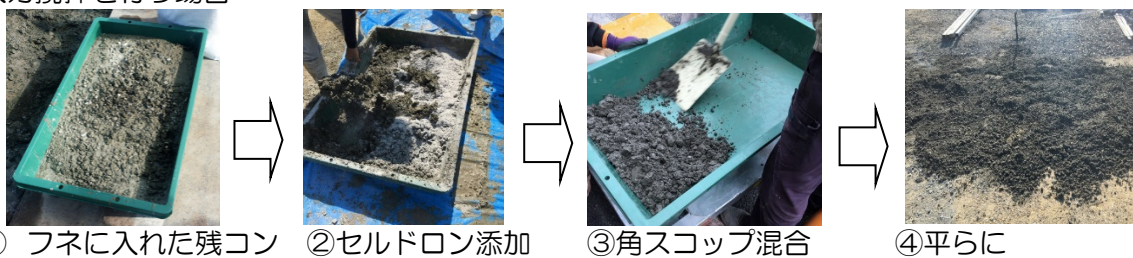
本工法は、現場で発生する余剰分の生コンクリートを硬化前に粒状化する工法である。従来は、硬化破碎処理していたが、本工法によって硬化破碎処理の必要がなくなる為、省人化され作業効率を向上させることができる。

【内容】

■アジテータ車を活用した場合



■人力攪拌を行う場合



■セルローズ繊維を主材とする「セルドロン」の特徴

- ・セルドロンは、古紙等を微細加工した細かなセルローズ繊維で構成される微細粒子。
- ・セルドロンを残コンクリートに混入、練混ぜすることにより、コンクリート中の余剰水分を急速に吸着する。さらに一定時間攪拌することにより、コンクリート中の骨材表面にセメントペーストが付着して造粒化される。この造粒物を一定時間放置後にほぐすことにより碎石状となり、破碎作業が不要となる。
- ・従来、建設現場等で余った残コンクリートは、アジテータから排出し硬化させた後に、人力または、重機により破碎作業を行っているが、本技術を使用する事で建設現場や生コンプラント等で余った残コンクリートを硬化する前に造粒させ、残コンクリートをスムーズに処理出来る。

■添加量

- 生コン 1 m³に対して、セルドロン 20kg 添加
- 洗浄水が含まれる場合は、セルドロンを追加してください。(洗浄水 10ℓ に対しセルドロン 2.5kg)
- 粒状になっていない場合は、セルドロンを追加してください。

■その他



- セルドロンは、1袋 10kg 入りになります。(左の写真)
- 保管時は、水にぬれないように注意してください。開封済みでも保管可能です。
- 飛散しやすい材料なので、防塵メガネや防塵マスクを活用ください。

【備考】(費用面など、必要に応じて記載ください)

- 生コンを排出後に角バックホーなど重機で混合することでも、粒状化させることが可能です。
- セルドロンは飛散しやすいため、ミキサーを高速回転させる場合はホッパーの蓋をしてください。

■写真



改質後に排出された生コン



改質後の粒状化された生コン



余った残コン



改質後の生コン(人力攪拌)

【備考】

お問い合わせ： 株式会社グロースパートナーズ 担当者 土井
TEL： 03-4405-2642 FAX： 03-6369-3805